



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月29日

上場会社名 大研医器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山田 圭一
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)大浜 正彦 TEL 06-6231-9917
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,963	8.7	475	24.2	463	23.8	268	26.3
22年3月期第2四半期	2,727	—	383	—	374	—	212	—

(注) 22年3月期第2四半期については、前第2四半期の四半期財務諸表を作成しておりませんので、対前年同四半期増減率は記載を省略しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	36.63	35.96
22年3月期第2四半期	58.45	57.04

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	7,271	3,849	52.9	524.87
22年3月期	7,200	3,688	51.2	507.54

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,849百万円 22年3月期 3,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,240	8.7	1,001	19.9	955	16.7	546	12.1	74.57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他 (詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

23年3月期2Q	7,960,000株	22年3月期	7,960,000株
23年3月期2Q	626,020株	22年3月期	693,020株
23年3月期2Q	7,319,833株	22年3月期2Q	3,633,540株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・平成21年9月15日付で公表しておりますとおり、平成21年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式を分割しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における経済情勢は、我が国をはじめ各国政府、金融当局の景気刺激策の効果や中国などの新興国の内需拡大等を背景に一時は回復基調で推移していたものの、本質的な改善には結びつかず、引き続き円高、個人消費の低迷、雇用情勢の停滞等が継続し、先行きの不透明感を払拭できない状況が続いております。

また、医療機器業界を取り巻く事業環境は、中国や米国の医療制度改革により、市場規模の拡大が見込まれているものの、診療報酬及び保険償還材料価格の改定、国内外メーカーとの価格競争の激化等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、医療現場におけるQOLや安全性の向上、医療機関の経営の合理化、省力化に結びつく製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに高度先進医療分野への開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は2,963百万円(前年同期比8.7%増)となりました。これは、主力のフィットフィックス関連及びシリンジェクター関連が引き続き伸長したこと等によるものです。

フィットフィックス関連では、手術用の吸引器であるフィットフィックスについては、引き続きシェア伸長に向けた販売促進活動を推進した結果、販売量が大きく伸びました。また、病棟用の吸引器であるキューインポットについては、市場浸透を図るべく積極的な普及活動に努めるなか、消耗品であるキューインポットライナーの販売量が大きく増加しました。これらの結果、フィットフィックス関連全体では、1,651百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

シリンジェクター関連では、4月に改定された償還価格の下落や他メーカーとの競争の激化などの影響により市場競争は激しさを増してきておりますが、製品の優位性等を活かした当社PCAセットへの置き換えを図り、引き続きPCAセットが伸長したことが主な要因であります。シリンジェクター関連全体では、814百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

② 営業利益

営業利益は475百万円(前年同期比24.2%増)となりました。これは主として売上総利益が増加したことに加えて、研究開発費が減少したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は463百万円(前年同期比23.8%増)となりました。これは主として営業利益が増加したことに加えて、支払利息の軽減等によるものです。

④ 四半期純利益

四半期純利益は268百万円(前年同期比26.3%増)となりました。これは主として法人税等が増加したものの、経常利益が増加したことによるものです。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は前事業年度末に比べて、118百万円増加し4,268百万円となりました。これは、主として原材料が49百万円減少したものの、現金及び預金が125百万円、製品が38百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて、46百万円減少し3,003百万円となりました。これは、主として減価償却費が有形固定資産の取得を上回ったことにより、有形固定資産が33百万円減少したこと等によるものです。

② 負債

流動負債は前事業年度末に比べて、56百万円増加し2,449百万円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が273百万円、1年内償還予定の社債が100百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が430百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて、146百万円減少し973百万円となりました。これは、主として長期借入金が150百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

純資産は前事業年度末に比べて、161百万円増加し3,849百万円となりました。これは主として繰越利益剰余金が剰余金の配当により123百万円減少したものの、四半期純利益を268百万円計上したこと、自己株式がストック・オプションの行使により16百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は平成22年10月29日開催の取締役会において、直近の業績動向を踏まえ、平成22年3月期決算短信(平成22年5月14日公表)において公表いたしました業績予想について、下記のとおり修正することを決議しました。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(平成23年3月期 通期)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	6,200	981	900	526	72.38
今回修正予想(B)	6,240	1,001	955	546	74.57
増減額(B-A)	40	20	55	20	—
増減率(%)	0.6	2.0	6.2	3.9	—
(ご参考) 前期実績	5,739	835	819	487	67.08

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,278,722	1,153,266
受取手形及び売掛金	2,118,940	2,123,335
製品	496,900	458,667
仕掛品	67,764	74,253
原材料	142,868	192,026
繰延税金資産	96,516	96,516
その他	68,001	53,212
貸倒引当金	△1,483	△1,483
流動資産合計	4,268,231	4,149,795
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	870,896	872,673
土地	1,197,677	1,197,677
その他(純額)	496,745	528,935
有形固定資産合計	2,565,318	2,599,286
無形固定資産		
投資その他の資産	60,515	69,364
投資有価証券	12,784	16,851
繰延税金資産	252,172	250,517
その他	138,654	143,668
貸倒引当金	△25,700	△29,083
投資その他の資産合計	377,911	381,953
固定資産合計	3,003,746	3,050,605
資産合計	7,271,977	7,200,400
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	689,237	681,918
短期借入金	860,000	430,000
1年内償還予定の社債	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	349,785	623,011
未払法人税等	201,878	199,923
未払費用	205,442	204,684
その他	142,722	152,718
流動負債合計	2,449,066	2,392,255
固定負債		
長期借入金	449,158	599,572
退職給付引当金	66,415	62,641
役員退職慰労引当金	446,013	445,958
その他	11,578	11,720
固定負債合計	973,165	1,119,891
負債合計	3,422,232	3,512,147

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	420,868	418,121
利益剰余金	3,085,065	2,940,456
自己株式	△151,526	△167,740
株主資本合計	3,850,282	3,686,712
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△871	1,540
評価・換算差額等合計	△871	1,540
新株予約権	333	—
純資産合計	3,849,745	3,688,253
負債純資産合計	7,271,977	7,200,400

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,727,210	2,963,327
売上原価	1,368,008	1,531,851
売上総利益	1,359,202	1,431,475
販売費及び一般管理費	976,118	955,755
営業利益	383,083	475,720
営業外収益		
受取利息	334	221
受取配当金	104	106
受取補償金	660	1,297
その他	700	1,105
営業外収益合計	1,800	2,730
営業外費用		
支払利息	10,499	7,694
株式公開費用	—	4,952
その他	155	2,646
営業外費用合計	10,654	15,293
経常利益	374,229	463,157
特別利益		
固定資産売却益	—	390
貸倒引当金戻入額	—	1,219
特別利益合計	—	1,610
特別損失		
固定資産除却損	9,902	16
特別損失合計	9,902	16
税引前四半期純利益	364,326	464,751
法人税等	151,958	196,603
四半期純利益	212,368	268,147

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	364,326	464,751
減価償却費	88,104	156,172
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△3,383
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,800	3,774
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,250	55
受取利息及び受取配当金	△438	△327
支払利息	10,499	7,694
株式公開費用	—	4,952
固定資産売却損益(△は益)	—	△390
固定資産除却損	9,902	16
売上債権の増減額(△は増加)	△30,378	11,609
たな卸資産の増減額(△は増加)	53,997	17,414
仕入債務の増減額(△は減少)	△70,742	58,338
未払金の増減額(△は減少)	△64,552	△36,735
未払費用の増減額(△は減少)	11,416	633
その他	△36,043	△12,858
小計	336,630	671,717
利息及び配当金の受取額	342	223
利息の支払額	△10,215	△7,746
法人税等の支払額	△200,781	△192,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,976	472,172
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△87,547	△145,114
有形固定資産の売却による収入	—	468
無形固定資産の取得による支出	△49,740	—
その他	△1,609	606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,896	△144,039
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400,000	430,000
長期借入金の返済による支出	△453,807	△423,640
社債の償還による支出	—	△100,000
配当金の支払額	△79,678	△122,850
自己株式の処分による収入	—	18,961
株式公開費用の支払額	—	△4,952
その他	—	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,485	△202,676
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△146,406	125,456
現金及び現金同等物の期首残高	1,161,023	1,153,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,014,617	1,278,722

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高(千円)	前年同四半期比 (%)
フィットフィックス関連	890,809	128.7
シリンジェクター関連	393,000	104.4
電動ポンプ関連	54,978	126.5
手洗い設備関連	158,084	114.5
その他	103,068	101.3
合計	1,599,942	118.3

(注) 1 金額は、製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高(千円)	前年同四半期比 (%)
フィットフィックス関連	1,651,471	115.3
シリンジェクター関連	814,056	105.7
電動ポンプ関連	32,848	92.9
手洗い設備関連	313,428	91.5
その他	151,522	103.2
合計	2,963,327	108.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。